# 地域説明会の開催結果について（森孝中ブロックの小・中学生及び未就学児の保護者・地域の皆様）

・ 令和８年10月に本地丘小・森孝東小・森孝西小及び森孝中の保護者の方、未就学児の保護者の方及び地域の方を対象とした「本地丘小学校・森孝東小学校・森孝西小学校の統合及び森孝中学校との併設に向けた説明会」を開催しました。
・ 地域説明会でのご意見等に対する教育委員会の考え方をまとめました。
・ 内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、ご意見を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 第１回 | 令和８年10月８日(木) | 19:00～20:40 | 森孝東小学校体育館 | 16名 |
| 第２回 | 令和８年10月10日(土) | 14:30～15:05 | 森孝西小学校体育館 | ８名 |
| 第３回 | 令和８年10月12日(月・祝) | 14:30～16:30 | 森孝東小学校体育館 | 34名 |
| 第４回 | 令和８年10月13日(火) | 19:00～19:20 | 本地丘コミュニティプラザふれんず | ５名 |
| 第５回 | 令和８年10月15日(木) | 19:00～19:25 | 森孝西小学校体育館 | ４名 |
| 第６回 | 令和８年10月18日(日) | 10:00～10:35 | 本地丘コミュニティプラザふれんず | ３名 |

| 区分 | | お立場 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 未就学児保護者 | 小学生保護者 | 中学生保護者 | （うち重複） | 子ども | 地域住民 | 合計 |
| 学区 | 本地丘小 | 1 | 2 | 0 | (1) | | 4 | 6 |
| | 森孝東小 | 14 | 14 | 1 | (6) | | 24 | 47 |
| | 森孝西小 | 2 | 4 | 2 | (1) | 5 | 5 | 17 |
| | 合計 | 17 | 20 | 3 | (8) | 5 | 33 | 70 |

## ① 3小学校を統合する必要性

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○いろいろな人と関わりながら育ってほしいため、統合によってそれがかなうと思いました。また、人には合う、合わないがあるため、クラス替えができることは大きなメリットであり、統合案はとてもよいと思いました。 | 今回の統合により、クラス替えのできる望ましい学校規模を確保することは、子どもたちがこれまでよりも多くの考え方や価値観に出会い、社会性や協調性を伸ばす機会につながるなど、子どもたちにより良い教育環境を提供することができるというメリットがあると考えています。<br>また、クラス替えをすることで、前の年につまずいた子どもが心機一転して新たなスタートを切ることができ、新しい友達との出会いによって、それまで力を発揮できなかった子どもが輝き始めることもあるため、多くの同じ学年の仲間と関わり合うことは、子どもの成長にとって非常に大切であると考えています。 |
| 2 | ○森孝西小はそのままで、本地丘小と森孝東小の 2 校だけを統合すればいいのではないでしょうか。 | 本地丘小と森孝東小の 2 校だけを統合しても、クラス替えができる学校規模にはならない見込みです。クラス替えのできる望ましい学校規模を確保し、教育環境の向上を図るため、森孝西小を含む 3 小学校の統合を進めたいと考えています。 |
| 3 | ○3 小学校が一つになると、中学校進学時にいじめ問題も含め、人間関係をリセットしづらくなるのではないでしょうか。<br><br>○統合によって、多様な人と関わり、社会性を伸ばすことには、仮に運動場や通学のデメリットがあったとしても、大きな意義があると考えています。<br>一方、統合せず小規模校のままとなった場合に、人間関係のトラブルやいじめが起きたとき、単学級ではクラスを分けることができないため、どのように対応するのでしょうか。 | 3 小学校が一つになることで、中学校進学時に人間関係をリセットしづらくなるとのご心配については、小学校の 6 年間も大切であり、小学校の段階からクラス替えができ、多くの仲間と関われる環境を整えたいと考えています。<br>学校では、学校規模に関わらず、いじめは絶対に許さないという姿勢で、からかいなどの小さな兆候もいじめとして認知し、早期発見・早期対応に取り組んでいます。いじめが起きた場合には、被害を受けた子どもや保護者と相談しながら、安心して学校生活を送ることができるよう対応します。<br>複数学級であれば、翌年度に加害側と被害側の児童を別の学級にするなど、物理的に離す対応を検討することができます。一方、単学級では、翌年度も同じ学級で過ごさなければならない場合があります。<br>単学級・複数学級に限らず、問題が解決していないときには、別室登校によって教室とは別の場所で過ごすこともあります。<br>その場合も、教員を増員して大人の目を増やすことや、別室に教員を配置して見守ることなど、被害を受けた子どもが安心して学校生活に戻れるよう支援します。学校としては、いじめを許さず、子どもの状況に応じて必要な支援を行いながら、早期の解決に取り組んでいきます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | ○今後も児童数が減ると判断する根拠が分かりません。森孝東学区では世帯数が増え、世代の入れ替わりや新築住宅も見られます。そのような人口動向を推計に反映しているのでしょうか。 | 将来の児童数については、令和2年度の国勢調査を基に、生存率、出生率、移動率などを加味して推計しています。6年後から15年後の児童数はほぼ横ばいと見込んでおり、3小学校はいずれも適正規模にはならず、小規模校の状態が継続すると考えています。 |
| 5 | ○本地丘小の児童数減少は、市営住宅の年齢構成にも原因があると思います。住宅を建て替えるなどの施策を検討してほしいです。 | 市営住宅を所管している部署からは、現時点では本地荘の建て替え等の具体的な計画はなく、検討段階であると聞いています。また、市営住宅の建て替え等に学校の有無は影響しないものと聞いています。 |
| 6 | ○実際に学校に通っている子どもたちが統合についてどのように思っているのか意見を聞くため、説明会やアンケートをしないのでしょうか。 | 子どもたちにとって、単学級と複数学級の違いは、これまで体験したことがない事柄なので、子どもたちから意見を取ることは難しいと考えており、大人が責任をもって判断することが必要だと考えています。<br>また、統合決定前に子どもたちに直接意見を聞くことは、統合の是非について、ある意味で子どもたちに責任を負わせることになると考えています。<br>子どもたちへは、統合した後に、多くの人数での学校生活を経験して感じたこと等に関して、アンケートを取っています。<br>また、統合後の新しい学校づくりに向けた検討の中で、アイデアをもらいたいと考えています。 |

**② 統合校の場所**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○併設校への通学については、通学距離だけでなく、今年起きた豪雨などの気象変化も考慮すべきだと思います。<br>特に、登下校中の児童が流水により転倒すると命に関わるため、具体的な対策や考え方を示してほしいです。<br><br>○先日の豪雨では、森孝中で保護者への引き渡しが夜遅くまで続き、周辺では交通渋滞も起きました。安全が十分とは言えない場所に、3小学校の児童と中学生を集めることに疑問があります。<br>危険がある場所であれば、人を増やすのではなく減らす方が自然ではないでしょうか。 | 令和7年8月時点の内水氾濫のハザードマップでは、森孝中周辺の浸水深は0.3メートル未満とされ、先日の豪雨では、併設校の森孝中の正門前で膝下程度の浸水がありましたが、運動場の浸水や香流川の氾濫はなかったと確認しており、特に安全が十分とは言えない場所とは考えていません。<br>豪雨時において、学校では子どもの安全を最優先に対応します。下校時刻に大雨が予想される場合は、雨雲レーダーなどを確認し、児童生徒を学校に待機させます。状況によっては保護者への引き渡しを行い、迎えがあるまで学校で預かります。雨が弱まり下校できると判断した場合も、必要に応じて教員が方面別に付き添うなど、安全を確認しながら対応します。<br>児童生徒数が増えた場合も、この考え方に基づいて、適切に対応します。 |

| | | |
|---|---|---|
| 2 | ○通学距離 2km の根拠を示してほしいです。 | 国では、学校を適正な規模にするための統合における通学距離の基準として、概ね小学校が 4km、中学校が 6km と規定されていますが、本市では「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」において、概ね小学校が 2km、中学校が 3km を目安としています。これは、計画策定当時、市内の小中学校において最も遠い場所からの通学距離が、小学校で概ね 2km 以内、中学校で概ね 3km 以内で通学路を設定している学校が多い状況だったことを踏まえて目安としたものです。 |
| 3 | ○資料の地図では、森孝中まで 1.8 キロと示されていますが、小学 1 年生が 1.8 キロを歩くと何分程度かかるのでしょうか。また、学区の近隣自治体の事例も参考にしているのでしょうか。<br><br>○スクールバスを運行する考えはあるのでしょうか。 | 分団登校では 6 年生も 1 年生の歩く速さに合わせるため、30 分から 40 分程度かかると考えています。笹島小中学校でも、統合後に中川区との境付近から約 2 キロを通う 1 年生がおり、中学生が小学生の分団の後ろについて登校を見守る例もありました。<br>近隣自治体を含む他都市においてスクールバスなどの通学対策が行われているかについても調査をしていますが、本市の小学校では全市的に徒歩での通学を行っているので、スクールバスなどの導入は困難と考えています。 |

**③ 現在の森孝中の場所に小中併設校を設置すること**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○森孝中の敷地に小学校と中学校を併設すると、児童生徒一人当たりの面積が小さくなりますが、「適切な面積」とする根拠を示してほしいです。<br><br>○森孝中の敷地は、面積が狭いだけでなく形もいびつであると思います。運動場でまとまった長方形の場所を取ろうとしても、東西約 60 メートル、南北約 40 メートル程度しか確保できず、サッカーや野球は難しいと考えます。200 メートルトラックを設置しても、カーブがきつく、走りにくいと思います。 | 令和 14 年度の新校舎への移転時には、小学生と中学生を合わせて約 450 人を見込んでいます。森孝中の敷地は、市内の 500 人から 600 人規模の中学校の敷地面積と比べて若干狭いものの、概ね平均的な広さとなります。現在の 3 小学校は小規模校であるため、児童一人当たりの面積が広くなっていますが、併設校においても国の基準を満たした校舎や運動場を確保できるものと考えています。加えて、森孝東小の運動場をサブグラウンドとして活用するため、運動場面積は今よりも増加しますので、より充実した活動ができると考えています。<br>サブグラウンドも含めた運動場では、現在行っている活動と同様に部活動を行うことのできるスペースを確保できると考えています。また、新校舎の整備にあたっては、森孝中の敷地内に、安全に活動できる形状の 200 メートルトラックや 100 メートル直線コースを配置していきたいと考えています。 |

| | | |
|---|---|---|
| 2 | ○森孝東小の運動場を中学校の部活動のサブグラウンドとして使うとのことですが、部活動時間が短くなる中、森孝中から移動して練習することは現実的なのでしょうか。 | 森孝東小の運動場をサブグラウンドとして使用する場合、移動に時間がかかり、限られた部活動の時間に影響するという懸念はもっともだと考えています。<br>移動後すぐに練習を始められるよう活動内容を工夫するなど、練習時間を有効に使える方法について、今後、学校と検討していきます。 |
| 3 | ○中学生の体育や学年集会等に支障が出ないよう、小学校用と中学校用の体育館を整備してほしいです。<br><br>○森孝中の敷地の広さで、小学校用と中学校用の体育館を 2 つ整備し、運動場も確保することは本当に可能なのでしょうか。 | 体育館については、中学校用の体育館と、小学校用の体育館兼武道場の 2 つを整備することを検討しています。森孝中の敷地内に 2 つの体育館を配置することは可能であり、体育館を整備した場合でも、運動場に必要な面積を確保できると考えています。 |
| 4 | ○併設校において、理科室、音楽室などの特別教室は、小学校と中学校でそれぞれ整備されるのでしょうか。 | 特別教室など校舎の具体的な整備内容については、今後、併設校を設計する段階で検討します。 |
| 5 | ○併設校ではプールの授業を外部委託にしてほしいです。今どきプールを新しく造るのはもったいないので、学校外のプールを利用できないのでしょうか。 | 学校外プールを活用した水泳指導を行う予定はなく、校内にプールを整備する予定です。 |

**④ 小学校と中学校の併設での学校生活**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○小学校と中学校が併設することのメリットを教えてください。<br><br>○小中併設のメリットが十分に示されていません。笹島小中学校は小規模校であるため、そこで見られる良さが、併設による効果なのか、小規模校だからこそ得られる効果なのかを明確にする必要があります。<br>併設によってどのような教育効果が期待でき、そのために教育委員会がどのような取り組みを行うのか、具体的に説明してほしいです。 | 併設により期待できる主なメリットとしては、「より広い異学年交流」により、中学生が小学生の面倒を見る機会ができることで、人に対して優しく接する機会となり中学生の成長に役立つ面があること、小学生も中学生を日常的に見ることができるので大きくなったらこうなりたいという目標ができることなどが期待されます。<br>また「より多くの大人との関わり」により、多くの教職員で児童生徒を見守ることができ、たくさんの大人と子どもたちが接する機会ができます。さらに「小中学校の合同行事の開催」により交流の機会が広がるとともに、いわゆる中一ギャップといわれる「中学校進学の際のつまずきの緩和」や、「小中学校の教職員のスムーズな連携」なども期待されます。<br>笹島小中学校におけるこのような例は、小規模校による効果ではなく、小学 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 校と中学校が同じ施設にあり、教員が連携して取り組むことなどで生まれる効果であると考えています。<br>　なお、新校舎の整備により、グループ学習や個別学習に対応したスペース、充実した図書室・学習スペースなど、新しい学びに適した教育環境を利用できることもメリットになると考えています。 |
| 2 | ○笹島中に勤務していた教員から、笹島小中学校では、小学校は 45 分授業、中学校は 50 分授業のため、中学校ではチャイムを鳴らせないと聞きました。<br>　授業の最後の 5 分は、教員が内容をまとめるなど大切な時間です。チャイムを鳴らさない運用にすると、授業の区切りが曖昧になり、授業が中途半端にならないでしょうか。<br><br>○併設校の敷地は、瀬戸市の小中一貫校のように広くないため、小中学校両方でチャイムを鳴らすことはできないと思います。また、小学校だけ、あるいは中学校だけチャイムを鳴らす場合も、特に中学校のテストの時など、もう一方に影響することが心配です。<br><br>○小学校には 2 時間目後に大放課がありますが、その時間に中学校は授業を行っていて、小学生が遊ぶ声が授業の妨げになると聞いています。特に中学校ではテストも多く、小学生の声が大きな妨げになります。<br>　このような違いにより、中学生には我慢しろ、チャイムがなくても動けといった形になるため、両者を同じ敷地にすることは難しいと考えます。<br><br>○中学生にとっては、制限を受けるばかりで全くメリットが無いように思います。 | 　チャイムが鳴らなくても、教員と子どもが時間を意識することで、授業の終了時刻を守る運用は可能であると考えています。実際に、授業開始時のみチャイムを鳴らし、終了時は鳴らさない学校でも、教員と子どもが時間を確認しながら授業を終えており、混乱は生じていません。小中一貫校である瀬戸市の学校でも、小学校・中学校ともチャイムを鳴らしていないと聞いています。<br>　笹島小中学校では、休み時間については、小学生が運動場で遊ぶ時間と中学校の授業が重ならないように時間割を組んでいるため、小学生の遊ぶ声が中学校の授業の妨げになることは、基本的にはありません。また、併設校における時間割のシミュレーションを審議会の審議でも行っており、大放課の時間に中学校が授業を行わないことは可能であることも確認しています。<br>　笹島小中学校では、階層をしっかり分け、用事がない時には互いの階層には行かないというルールを徹底するとともに、特に中学校のテスト時には、小学生に普段より静かに過ごすよう指導し、対応をしています。<br>　なお、中学生のテストが終わり下校した後は、小学生が通常どおり運動場を利用できるため、小学生についても、長時間我慢し続ける状況ではありません。<br>　今回の併設校においても、施設整備や運用で十分に配慮していきたいと考えています。 |
| 3 | ○中高一貫校は理解できますが、小学校と中学校は、子どもの心身の発達に大きな違いがあり、小中一貫校には | 　今回整備する学校は、小中一貫校ではなく、小学校と中学校を同一敷地・同一施設に設置する併設校です。小中学校を併設すること自体を目的とするもの |

| | | |
|---|---|---|
| | デメリットが多いと考えています。 | ではなく、小規模化している 3 小学校を統合し、クラス替えができる望ましい学校規模を確保することで、教育活動の充実を図ることを目的としています。 |
| 4 | ○小学校と中学校が同じ場所になると、体格や力の差が大きいため、接触事故などが起きないか心配です。<br><br>○併設校での学校生活の安全について、具体的にどのような対応を検討しているのでしょうか。 | 併設校での学校生活の安全については、小学校と中学校が主に使用する教室を階層ごとに分け、昇降口も別に配置することで、登校時の混雑や日常的な接触を減らすことを検討しています。また、時間割を工夫するとともに、複数の体育館を整備することで、活動時間や使用場所を分け、衝突などを防止し、安全を確保したいと考えています。<br>施設の設計にあたっては、国の施設整備に関する指針なども踏まえ、安全面に十分配慮して検討していきたいと考えています。 |
| 5 | ○名古屋市の教員が性加害の問題で逮捕され、メディアで大きく取り上げられましたが、審議会では、性加害の問題が議論されたのでしょうか。<br>施設整備と性加害は、保護者にとって切り離せない問題です。学校統合によって問題が起こりやすくなるのか、抑止力として働くのか、考え方を聞きたいです。 信頼していた大人からの被害は、子どもの心に長く傷を残すので教えてほしいです。 | 審議会では、性加害自体についての議論はありませんでしたが、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、校舎における安全への配慮について意見が出されました。<br>教員の性加害については、「こども性暴力防止法」が施行され、教員をはじめとする子どもと接する仕事をする人の性犯罪歴を確認し、子どもへの性加害を未然に防ぐようになります。こうした制度を通じて、子どもの安全を守るための取り組みを進めていきたいと考えています。<br>また、統合することにより、学校の規模が大きくなり、学校で働く大人の目が増え、職員同士が互いのことを見守り合うことは、問題の抑止につながる可能性があると考えています。校長の判断により、防犯カメラの設置を検討することなども考えられます。 |
| 6 | ○統合校開校や併設校新校舎への移転により、子どもの環境が何度も変わることが心配です。環境の変化に不安を感じる児童もいると思うため、スクールカウンセラーを常駐させるなど、相談体制を十分に整えてほしいです。 | 小学校のスクールカウンセラーについては、これまでの統合校では、常駐ではありませんが、通常の学校と比べて配置時間数を増やし、きめ細かく子どもに対応できる体制を整えてきました。<br>今回の併設校においても、これまでの統合校での取り組みを参考にしながら、子どもの不安や悩みに対応できる相談体制をしっかり整えていきたいと考えています。 |
| 7 | ○併設校では中学生にも給食を提供してほしいです。 | 併設しても小学校ではこれまでと同じように給食を提供する予定で、調理場の整備や調理員の配置を行います。中学校もこれまで通りスクールランチが提供できるようにランチルームなどの整備を行う予定です。<br>中学生への給食の提供については、検討した結果、小学校の調理場で中学校分の給食を同時に調理することは技術的には可能ですが、栄養価や昼食の時間 |

| | | |
|---|---|---|
| | | を考えると難しいと考えています。 |

**⑤ 通学の安全**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○通学の安全対策について、具体的にどのような対応を検討しているのでしょうか。 | 通学の安全対策については、統合決定後に、学校、PTA、地域住民などで構成する懇談会において、通学路や交通安全、防犯、熱中症対策について意見を伺い、警察や土木事務所などの関係機関と協議しながら対策を進めます。具体的には、ガードパイプや横断歩道、歩行者信号などを整備するなど、必要な対策を検討していきます。<br>熱中症対策としては、こまめな水分補給、帽子や日傘の利用、下校時に水筒の中身が無くなっている場合の補充、通学支援員の雇用などの対応を行いたいと考えています。これらに加えまして、ウォータークーラーを設置し、下校時に水筒へ冷水を補充することや、ネッククーラーを下校時も冷たく使えるように冷凍庫を設置することも考えています。 |
| 2 | ○熱中症対策として、併設校には、ウォータークーラーやネッククーラー用冷凍庫をぜひ設置してほしいです。また、統合校東校舎の本地丘小にも設置してほしいです。 | 併設校開校時において、ウォータークーラーを設置し、下校時に水筒へ冷水を補給できるようにすることや、ネッククーラーを下校時も冷たく使えるように冷凍庫を設置することを考えています。<br>令和 10 年度開校の統合校東校舎・西校舎にも、ウォータークーラー等を設置するかについては、統合が決定しましたら、学校とも相談しながら、検討していきたいと考えています。 |
| 3 | ○資料に、熱中症対策として「避暑やすみスポット」とありますが、どのような場所なのでしょうか。多くの子どもたちが利用しても大丈夫なのでしょうか。 | 避暑やすみスポットは、熱中症予防・対策のために、市民の方に、暑さを避けて一時的に休憩していただく場所です。今年度は、森孝中ブロックの中でスーパーマーケットと薬局の 2 件が登録されており、子どもたちも利用できると考えています。 |
| 4 | ○通学支援員は、登下校時に子どもと一緒に歩いてくれる人なのでしょうか。ずっと付き添うのでしょうか。 | 通学支援員は、通学路が変わり距離も遠くなる児童のために、通学に慣れるまでの一定期間、学校から遠い分団と一緒に登校する職員です。 |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | ○新しい学校まで長い距離を歩く中で、ランドセルや教科書の重さが子どもの負担になることを心配しています。教科書を学校に置いたり、ランドセルではなく軽いリュックを認めたりするなど、荷物を軽くする対応をしてほしいです。 | 現在小学校では、教科書などを学校に置いていくことを認めており、持ち帰る荷物は以前より軽くなっています。タブレットについても、毎日持ち帰る学校、必要な時だけ持ち帰る学校など、学校ごとにルールが異なります。<br>統合校においても、子どもの負担が少なくなるよう、学校に置いて帰ってよい物やタブレットの持ち帰り方を学校が決めていくことになります。<br>通学かばんについても、必ずランドセルということではありません。これまで開校した統合校でも、両手が空き、丈夫なものであれば、リュックや布製のランリュックなども使用できるとしており、今回の統合においても、子どもの負担を軽減できるよう検討していきます。 |
| 6 | ○小学生の下校時刻は学年ごとに異なります。特に低学年は少人数で、広い地域へ分かれて帰ることになります。保護者や教員が毎日付き添うことも難しいため、下校時の安全をどのように確保するのか心配です。 | 低学年の下校について、通学距離が長くなることへの心配は理解しています。同じ方面へ帰る児童をできるだけ同じ時間に下校させ、まとまって帰ることができるようにするなど、他の小学校同様、安全性を高める対応を行いたいと考えています。<br>また、統合後も、現在各学区に配置されている交通指導員を配置し、通学路や危険箇所を踏まえ、効果的に配置することで、特に低学年の児童が安全に下校できるよう対応していきます。 |
| 7 | ○統合校東校舎への通学路は、白山第一公園の前から直線的に、なるべく最短距離で本地丘小に行くルートにしてほしいです。 | 通学路につきましては、最終的には学校が設定することとなりますが、その検討にあたっては、保護者、地域の方々などのご意見を伺い、道路・交通の状況や周辺環境などを踏まえ、安全に通学できる通学路の設定を学校とともに考えていきます。<br>ご要望いただきましたルートについても大切な意見の一つと捉え、統合決定後、通学路を設定する際に検討したいと考えています。 |
| 8 | ○四軒家や森孝新田の交差点が危険です。統合するのであれば、歩道橋の設置を含め、安全対策を検討してほしいです。 | 通学における交通安全については、統合決定後、統合に向けた懇談会（学校、PTA、地域住民で組織）においてもご意見を伺いながら、警察や土木事務所等の関係行政機関と協議しながら対策を進めていきます。 |

**⑥ 地域への影響**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○跡地利用について、具体的にどのような対応を検討しているのでしょうか。 | 跡地利用については、統合決定後、地域からのご要望を伺い、その内容を踏まえ、教育委員会だけでなく市全体で利用方法を検討します。<br>教育委員会としては、森孝東小の運動場を併設校のサブグラウンドとして活 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 用するとともに、避難所や地域コミュニティーの活動場所としての機能も維持するよう働きかけを行っていきます。 |
| 2 | ○現在、PTA バレーボールの活動をしています。統合後、各小学校や中学校のチームはどのように活動することになるのでしょうか。 | 統合が決定しましたら、3 小学校の PTA について、令和 10 年度統合時に 1 つの組織とするのか、それとも、令和 10 年度は東校舎と西校舎で別々の組織とし、令和 14 年度に PTA を 1 つにするのかを検討します。<br>そのため、現時点では、令和 10 年度の小学校統合時にチームが 1 つになるのか、東西校舎ごとに 2 つになるのかは決まっていません。<br>なお、中学校 PTA は小学校 PTA とは別であるため、中学校のチームとは別に活動することになると考えています。 |
| 3 | ○統合後や校舎工事の間、地域団体が利用している運動場や体育館等の学校開放は停止されるのでしょうか。<br>森孝中が現在の森孝東小の場所に来たとき、体育館等の地域開放はどうなるのでしょうか。これまでどおり、森孝東小の地域から貸し出しを受けられないのでしょうか。 | 統合後や工事期間中、併設校完成後などにおいての、それぞれの学校施設の地域利用につきましては、今後、関係部署や地域の方等とも調整しながら、決定していきます。 |
| 4 | ○小学校の統合や中学校との併設に不安を感じ、中学受験をしたり、他の地域に引っ越したりする人が増えないのでしょうか。 | 笹島小中学校では、小中併設を理由に中学受験が増えたという状況は特にありません。他校と同じように受験して私立へ進む子どもが一定数いる一方で、帰国児童・生徒を受け入れているため、笹島小中学校への入学を希望する子どももいます。<br>また、近年統合した「たかしま小学校」や「みやこ小学校」などでも、統合後に中学受験が目立って増えたり、予定していた進学先へ進まない子どもが増えたりしたとは聞いておらず、統合前後で大きな変化はないと認識しています。 |
| 5 | ○統合が決まることで、不安を抱く子育て世帯が他学区へ転出し、若い世帯の人口流出につながることを懸念しています。学校跡地などを活用し、若い世代が地域に住み続けたい、新たに住みたいと思える施設整備やまちづくりなどを進めてほしいです。 | 笹島小中学校を含むこれまでの統合校では、統合後に児童数が大幅に減少した学校はなく、統合を理由に多くの若い世代が転出した状況もないと認識しています。跡地利用については、統合決定後、地域からのご要望を伺い、その内容を踏まえ、教育委員会だけでなく市全体で利用方法を検討したいと考えています。 |

### ⑦ 工事期間中の仮校舎での生活

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○森孝東小の場所での森孝中の生活は、仮設校舎での生活となるのでしょうか。 | 主に現在の森孝東小の校舎を利用し、小学校の教室などを中学生が使用できるよう、中学校仕様へと必要な改修を行うとともに、既存の校舎だけでは不足する教室・施設等については、仮設校舎を設置して対応する予定です。 |
| 2 | ○森孝東小の体育館には空調は設置されないのでしょうか。 | 森孝中が仮移転する令和 11 年度に向けて体育館空調を設置する方向で調整を行っています。 |
| 3 | ○本地丘小や森孝西小の体育館には空調が設置されていませんが、設置されないのでしょうか。 | 統合校が開校する令和 10 年度に向けて体育館空調を設置する方向で調整を行っています。 |
| 4 | ○統合校東校舎となる本地丘小は、改修を行うのでしょうか。 | 本地丘小の施設状況は確認しており、統合が決定しましたら、令和 10 年度の統合校東校舎の開校に向け、児童数の増などに対応するため等の必要な改修工事等を行う予定です。 |
| 5 | ○森孝東小のトワイライトスクールは現在も利用者が多く、夏休みなどは運営が大変だと聞いています。統合校東校舎へ通うことになれば、児童数が増えるため、外遊びもできない状態になることが心配です。 | 令和 10 年度からの統合校東校舎でのトワイライトスクールの体制については、いただいた意見をトワイライトスクールを所管する部署へ共有します。 |

### ⑧ 小中一貫校から小中併設校への変更

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○当初は小中一貫校として説明していたと思いますが、いつの間にか併設校という説明に変わっています。その経緯と理由を説明してほしいです。 | 令和 2 年度の計画当初は、小中一貫教育を「組織や施設の統合（ハード面）」と「教育内容の充実（ソフト面）」の両面から進める前提であったため、森孝中ブロックにおいても、「小中一貫校」の設置を提案していました。<br>しかしその後、小中一貫教育の推進に係る有識者等懇談会の議論を経て、教育委員会として本市が目指す小中一貫教育についての考え方を整理し、まずは学校間の連携促進等により、一貫教育を推進することとしました。<br>一方で、「組織や施設の統合」といったハード面につきましては、今後の状況を見極めながら継続して検討していくこととしました。<br>そのため、小中一貫校から併設校へと説明を変更しました。 |

**⑨ その他**

| No | ご意見・ご質問 | 教育委員会の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | ○統合は決定したのですか。<br><br>○今後、コロナ禍のような事態や世界情勢によって物資が手に入らなくなった場合、スケジュールに遅れが生じることはないのでしょうか。 | 現在は、取り組みの進め方におけるステップ3の「保護者・地域への説明・協議」の段階であり、統合はまだ決定していません。今後、ステップ4として、最終的に教育委員会が統合を決定することになります。<br>教育委員会としましては、このスケジュールどおりに進められるよう、全力で取り組んでいきたいと考えています。<br>一方、社会情勢の変化や物資の不足、入札が成立しない場合など、不可抗力によって工事が遅れる可能性を否定することはできませんが、現時点では、お示ししたスケジュールで進めたいと考えています。 |
| 2 | ○令和2年度から、小中一貫教育の内容や、森孝中の限られた敷地に3小学校と中学校を併設することへの不安を繰り返し伝えてきました。しかし、地域の声が十分に受け止められ、計画に反映されているとは感じられません。3小学校の統合はやむを得ないと考える人でも、小中併設には強い不安を抱いています。<br>併設ありきで進めるのではなく、市境を越えた学校配置、少人数教育のモデル校など、これまで提案してきた案も含めて比較・検討してほしかったです。<br>この説明会をもって計画が進められていくのだと思います。返答は不要ですが、地域にはこうした声があるということを、担当者として心の中、頭の中に置いてほしいです。 | 地域の声を伝えていただき、ありがとうございます。今後とも、地域や保護者の方のご不安やご懸念の声に対し、丁寧に説明をさせていただきたいと考えています。 |